

雨

まちを襲った突然の豪雨。

令和2年9月11日は、市に甚大な被害をもたらした東海豪雨から20年が経過する日です。

市では20年前の平成12年9月11日から12日にかけて1時間雨量最大83^{mm}、総雨量609^{mm}を記録しました。

市は東海豪雨を教訓として、ソフト、ハード面できざまな対策を行い、これからも防災・減災対策を実施し、災害に対して強靱なまちを目指します。

東海豪雨から20年が経過したことを受け、岡村市長が市民の皆さんへ向けたメッセージを出しました。こちらからご覧ください。



※メッセージの内容は、市ホームページでもご覧いただけます。

忘れてはいけないあの日のこと。



市内道路の冠水

いくつかの道路で、冠水が発生し、通行不可能な状況になりました。車の中に取り残されるなどの被害が発生しました。



大府高校北交差点



北崎町地内



柘山地下道

背景写真：大府駅西交差点

教訓を糧に防災・減災。



集められた災害ゴミ

浸水被害による災害ゴミが多く発生しました。ゴミの発生量は通常時の1.4カ月分で、2700トが集められました。



メディアス体育館おおぶ



柘山町地内



柘山町地内

背景写真：メディアス体育館おおぶ

河川の氾濫

市内河川では破堤などが116カ所発生しました。市内の住家被害は床上浸水546件、床下浸水400件。孤立住民など642人を救助しました。



北崎町地内



矢戸川の破堤



武豊線高架下

背景写真：横根町地内